



SNSCだより



12月19日

部員	86名	新入会
U12	12名	
U11	28名	高石 愛尋 (西脇)
U10	11名	土谷 仁星 (西脇合)
U9	14名	
U8	16名	
U7	5名	



こんにちは。ろく年生は、まもなく卒部をむかえる時期になりましたね。なんとなく始めたサッカーも今となっては、生活の一部になっているのではないのでしょうか？ にちじょうが、今までと違うような毎日を過ごすことが多い今年でしたが、まいにち同じ日々を過ごしていても面白くはありません。けれなかつたボールが今は、思うようにいけるようになっていたり、ールも知らなかつたけど、今は自分で判断ができるようになっていたり、なんとなくなつたのが、自分でサッカーをすることができるようになつたのでないでしょうか？ ぼールはともだち。そんなことを言えるようになったと思います。くやしやよころこびをとにもできる仲間もできたことでしょう。わらひあつたり、泣きあつたりすることができたことでしょう。たくましくなつたのです。サッカーを通じて心が強くなってきたのです。しょうらいサッカー選手になりたい！と考えるようになった人もいます。はつ蹴りでは、柏木選手も来てくれました。つぎは、自分たちの番です。より一層、技術に磨きをかけて、体を強くして、いまからが次へのステージと思つて、素敵な春を迎えましょう。

まあしいコーチ



SNSC公式ホームページ
snsnc.info.com

【自己管理・・・子どもたち自身でできることで自信を！】
【子育て・・・手は掛け過ぎず 眼をかけて・・・】
【明るく楽しく元気よく！・・・子は親の鏡】

BGM

SNSCファミリーのみなさんへ

私たちの住む町にもコロナの感染拡大のえいきょうがたくさん出てきました。

もう、いつコロナにかかってもおかしくない状況です。

①まずは、かからないようにできるだけのたいさくをします
もしも、お家の方とお話をしていて不安なきもちが大きくなるときは、サッカーは、お休みしていいです。

②次に、もしも、かかってしまつたら、おいしゃさんの言うことをきいてはやく治るようちりょうします。

SNSCでは、コロナに関する差別は、ぜったいにゆるしませぬ。
もしも約束をやぶる人がいるときは、有持かんとくが相手になります。
サッカーだけ・・・は、だめです。いろいろなことにチャレンジすることが、人としての成長につながりますからね。

お家の方へ

先日の神戸新聞の記事からこんな言葉をみつけました。

「大人は子どもに対してかけてかける思いが強ければ強いほど要求レベルが高くなつてしまいがち。

さらに今までの人生経験から可能性を判断してしまいがち。
ただ、その決めつけが一番よくない考え方であるということ。

肝に銘じておきたいものです。

子どもにも素晴らしい可能性があることを心から信じて一人一人に向き合うことができれば、それこそが何を伸ばす教育につながっていくのではないかと思ひます」希学園長 黒田耕平

この言葉の特に前半部分は、一生懸命になればなるほど、うなずける部分が多くなつてきますね。我が子への向き合い方、いかがでしょうか？

監督 有持哲治

